

10
月号

第405号

いっしん

平成30年(2018年)

善し悪しは
神にまかせて
人はただ
心すなおに
いそしみて行け
甘本親教会
初代教会長
安武松太郎師御致

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

甘木親教会 布教115年 記念大祭 平成31年 10月26日・27日
加治木教会 矢野政美大人20年祭・矢野サダ子大刀自5年祭 平成31年2月10日



チャリティーバザーのためのたくさん
の
手
芸
品
・
不
用
品
な
ど
が
持
ち
寄
ら
れ
ま
し
た。

鹿児島地方教会連合会 主催
第二十三回

女性の集い

開催される

薩摩の国も初秋を迎え、錦江湾に
浮かぶ桜島を遠望する始良市加治木
町「加音ホール」会議室において、
第二十三回「女性の集い」が開催さ
れました。

講師には、大分県日田教会在籍の
田辺徳子(たなへのりこ)さんをお迎
えし「私と金光教」という講題で講
話を聴かせていただき、班別懇談、
引続いて全体懇談が行われました。

鹿児島県下の各教会から六十三名
加治木教会からは十名が参加させて
いただきました。

閉会式の前には、二年に一度開催
されるチャリティーバザーが行われ
ました。このチャリティーバザーは、
各教会から手芸品や未使用の不用品
などを持ち寄って販売されました。

収益金は、連合会の社会活動委員
会を通しての「災害支援金」と「女
性の集い」を担当する女性委員会の
運営資金として使われています。

連合会主催「女性の集い」…P1~4
連合会主催「青年のひろば」…P6
お知らせ…P7
秋季霊祭…P5
教会行事…P8

鹿児島地方教会連合会 主催
第二十三回

女性の集い

講師

日田教会(大分県)
田辺徳子氏

全国信徒会の常任委員
南九州教区信徒会役員
大分県北部連合会役員
「女性ネットワーク」代表
日田教会輔教

講題 「私と金光教」

⑤

▼生い立ち▲

平成二十三年九月の「西南ブロック研修会」で、長男と長男と息子のお話しをさせていただきました。今回は私自身の事を「私と金光教」というテーマでお話しさせていただきます。

昭和二十三年六月に、日田教会の長女として生まれ育てられました。小学校低学年までは教会のことに ついて何の抵抗もなくすくすくと育ちました。

だんだんと友達から「コンコン教」「狐をお祀りしているの」「やっぱり油揚げが好きなの」と言われ、それが嫌で嫌でたまりませんでした。



それに、教会にはお休みも日曜日もありませんので、家族でそろってどこかへ出かけるといふこともありません。家で教会だということとが嫌いでした。

少年少女会には楽しく参加していましたが、金光教ということをもっとく理解していませんでした。

「ありがたい」とか「おかげで」とか「もったいない」という思いもありませんでした。

そのため金光教が嫌い、教会には絶対にお嫁に行かないと決めていました。

四人姉弟で長女の私だけ、金光教学院に行っておりません。

商売人の彼(男性)と結婚することとまで言い、半年くらい口を利きませんでした。

その当時両親は、私が学院に行ってお道の教師になってどこかの教会

にお嫁に行くことを望み願っていたと思います。

今母親となつては、あの時はどれほど両親に心痛を与え悲しい思いをさせたかと反省をしております。

▼結婚の夢と現実▲

結婚したら、現実と夢はまったく違っていました。

私は結婚する前へ結婚したら彼のために朝ご飯を作って、彼のために何かをして、彼といつも一緒にいられると思っていました。

ところが、現実には女中さんと一緒にでした。

主人の両親と義弟がいて、義母は仕事ばかりする人で家事はしない人で、主人たちが成長するまでは、お義祖母ちゃんが家事をされ、お義祖母ちゃんが亡くなられてからは義父が家事をしていました。

私が同居してからは、家事のすべてが私の仕事になりました。

しかし、私の作った料理が義父の口に合わず「こんな川流れのようなものが喰われるか」と言われました。煮物も自分で醤油や砂糖を足して、

お味噌汁も「徳子ちゃん、もっと味噌をたくさん入れんとつまらんばい」とか、豆腐や野菜の切り方まで、それまで料理をしていたお義祖父ちゃんから言われました。

私が夕食の準備をしていると、お義祖父ちゃんのがぞいて「今日は俺の食べられるものは何もないね」と言っていて、義弟や子どもたちを誘って近所の焼き鳥屋やおでん屋や居酒屋に行っていました。

お義祖父ちゃんは私をいじめているという意識はなかったのかも知れませんが、私は嫁いだからずーっといじめられているような気がしていました。

よく泣きました。お風呂に入れば涙が出る、トイレに入れば涙が出る、お風呂に入るにも私が入るときにはお湯が少ししかなく、その当時は薪で沸かすのですが、私はそれが下手でした。

私はへどうして私はこんなにいじめられなければならないのかと悲しい思いをしていますが、神様はやっばり無駄ごとはなさいません。

その義父に鍛われてきたのですが、



前向きに、打ち勝っていく力を授けていただきました。そうして今があると思います。

ですから、よくへ私はあの義父から育てられたんだな」と思うことがあります。

しかし、義父が五年前に亡くなりましたが、亡くなる一年くらい前から「徳子ちゃん、徳子ちゃん」と言っていて私を頼りにしてくれるようになりました。それも有難いことだったと思います。

▼商売の実情▲

主人は最初日田の駅前
でブティックをしています

それでもめげずに嫁としての立場を頑張ってきましたので、少々なことがあってもめげずに

して、私もそこに勤務していました。朝は十時に開店ですので、朝の仕事をそれまでに済ませて出勤していました。

長男が生まれた後は、ある時期から、実家である日田教会に毎日預けました。

ちょうど、下の妹が短大を卒業して教会にいましたので、母と妹で面倒を見て可愛がってくれました。

その後、次男、三男とおかげを頂きまして、仕事ができにくく、従業員さん任せになってしまいました。

すると、仕事が上手く行きません。仕入れも私の好みではなく、従業員さんの好みになり、お店の状態が良くないようになりまして。

そのため、主人と相談してお店を閉めることにしました。

その頃、義母が主になって婦人服の縫製をしていましたので、みんなで縫製工場の方をやって行



こうということになり、家族で縫製工場を頑張ることにしました。

工場も三軒を構え従業員さんも四十五人くらいに増えて行きました。

私は、本来商売はまったく知りませんし、分かりませんでした。

お金の貸し方や借り方や「貸借対照表」とか言われてもチンプンカンプンでした。

そのため、一大決心をしてテープレコーダーを抱えて税理士の先生のところへ毎日、一ヶ月間通いました。

そうして「貸借対照表」を自分で作れるようになりまして、田辺縫製の事務の方の仕事に入ることにしました。

その時、一人事務員の方がおられました。私が事務を始めると、誰に渡したかわからない小切手が切つてあったり、帳面を見てもだらめでした。



義母が言うには、以前に、決算の時期になり、税理士さんが「元帳とか帳面を一式持ってきて下さい」と連絡があり、その事務員さんに託けると、また税理士さんから「帳面を早く持ってきて下さい」と連絡があり、夕方遅くその事務員さんが帰ってきて「元帳も帳面もみんな無くなりました」と言ってきた事があったとのこと。帳面がぜんぜんできてないので、どこかに捨ててきょうなことで、大変な思いをしたこともあったそうです。

その事務員さんは、人は良くて、うちの子どもの面倒をよく見てくれたりしていましたが、仕事の方はきちんとしていませんでした。

また、家族にも事務員さんの作る帳面を見ることのできるような人がなく、事務員さんのどんぶり勘定ですつときていたようなことでした。

その事務員さんには、辞めていた

だきまして、私が事務員として頑張ることになりました。(つづく)

◆◆◆聴后感◆◆◆

※講師の田辺さんは親の反対を押し切り、好きな一般の方との結婚を決め、お父様から「親子の縁を切る」とまで言われたのです。嫁がられました。親からここまで言われれば帰る家はないようなもの、いわば「背水の陣」、さらにどこに逃げようとしても「修行」はついてくるもの。



加音ホール (始良市加治木町)

そのような中でも、起こってくる難・トラブルが人生の肥やしとなって行く。やはり、親の祈り・信心の徳・導きに支えられていることが感じられてなりません。

(教会長)

秋季霊祭

仕えられる

鹿児島島の野山に彼岸花や萩の花が開いた、九月二十三日の秋分の日、加治木教会では秋季霊祭が仕えられました。

午前十時半より、教会長先生ご祭主のもと、ご神前で奏上祭が仕えられ、ご霊前に転座後は、加治木教会にご縁のある教徒から信徒のすべてのご霊神のみ名を読み上げられて、ご霊神様方にお礼申し、お慰め・お称え申し上げて、親神様のお恵みを受けられて、ひととき高い位のご霊神様となられ、ご安心され家族親族を守り導くお働きがでられるよう、お祈り申し上げる内容の祭詞が奏上されました。

ご霊前では、祭詞奏上後、参拝者全員が順にご霊前に玉串を奉奠させていただき、ご祭典後、参拝者一同で茶話会の直会が開かれました。

*

信心させていただくお互いは、甘木親教会の初代親先生が伝えられた

ように、万物の霊長である人間ならば心の眼を開いて恩を知って恩に報いる生き方である「知恩・感恩・報恩」の生き方を心がけて行くべきであります。

古より大切にすべきと伝えられる「三大恩」の、「天地の恩」「親の恩」「国(国家社会)の恩」をよく知るべきですし、「恩を知らざるは禽獣きんじゆうに劣る」とも伝えられているように、せめて「三大恩」だけでもよくわきまえて「万物の霊長」たるべく「禽獣」(鳥・けだもの)の意に劣らないように心がけたいものです。

せめてお彼岸秋分の日・春分の日には、親先祖の霊様に、ご生前の好物などをお供えして、お礼を申し上げますことに、心を尽くさせていただきます。



奥津城の除草作業が → 福元正浩さん・あけみさんご夫妻でお盆前に奉仕されました。そのため納骨堂内側の清掃も念入りにできました。霊様方もスッキリされたことでしょう。

連合会主催

青年のひろば

開催される

昼間の残暑はまだまだで、朝夕はずいぶん涼しくなってきた九月十五日(土)・十六日(日)「仙寿の里温泉」瀬尾郁雄氏経営において、連合会主催の「青年のひろば」が開催されました。

十五日(土)の十九時から講話と懇談がありました。翌十六日(日)は鹿児島教会新築引き渡し直後の日曜日であるため、引越しのお手伝いの奉仕作業をさせていただきました。

十五日の講話の講師には、入木田 覺さん(大口教会在籍・連合会信徒部会長)を迎えて「わが人生と信心のあゆみ」という講題で講話を聴かせていただきました。

入木田 覺さんは、五才まで父親の仕事のため家族で現在の北朝鮮に住み、終戦と同時に余儀なく引き揚げをせざるをえなくなり、父親とは離れ離れとなり、母・叔母・二人の妹



入木田 覺 氏

と五人で徒歩での引き揚げを敢行し、途中冬を越すため逗留した感興(かんこう)という町の邦人のお寺で、叔母と二人の妹を栄養失調と病気で亡くし、翌年母子二人で故郷に帰り着くことができたお話しは、戦争体験のない若者たちにとっては想像もつき難いことばかりでした。

母子四人と叔母の、身内五人の戦時中の写真数枚をプロジェクトで撮影して視せていただきました。

身内五人で六五〇km、北海道と緯度の地を徒歩による引き揚げで、生きて帰国できたのは、母子二人であつたということでした。

また、成人後C型肝炎に罹患し義母に導かれて入信した経緯、信心を進めて行かれた諸々の体験と、大変意味深い内容でした。

夜の帳が降りてからは、パーベキユーをしながらの懇談となりました。講師を含め八名での研修会でした。(お話しのCDを希望される方は、

教会までお知らせ下さい。



入木田 覺氏(左) お母様(上) 叔母様・二人の妹(右)
(叔母様と二人の妹は途中で亡くなられる)
昭和20年終戦前の家族写真





お誕生

おめでとございます
 永原和人さん、仁美さん
 ご夫妻に、八月十六日
 長男漣人(れんと)くんが誕生
 されました。
 お健やかな
 ご成長をお祈り申し
 上げます。

ご結婚

おめでとございます
 迫由貴乃さん(現在東京在住)
 (大重美知子さんのお孫さん)は、
 岡野悠太さんと
 九月二十二日、
 めでたくご結婚されました。
 末永い幸せを
 お祈り申し上げます。

あしあと

加治木教会行事記録

9月

1 (土)	●月例祭(報徳)	10時半
5 (水)	龍笛稽古	20時
8 (土)	清掃御用	10時
8 (土)	9 (日)	
9 (日)	甘木親教会「信徒の集い」	
9 (日)	連女性の集い	
10 (月)	●月例祭(主神金光)併せて	10時半
10 (月)	●月例祭(大神様)併せて	10時半
15 (土)	9 (日)	
18 (火)	連青年のひろば	
18 (火)	9 (日)	
21 (金)	甘木親教会 壮年部御用(教師)・TSC	
21 (金)	清掃御用	10時
22 (土)	●月例祭(天竺金)共励会	13時半
22 (土)	●月例祭(乃神様)	10時半
23 (土)	●秋季霊祭	10時半
29 (土)	30 (日)	御本部(主神)御大祭参拝

ご霊神様のおまじり

十月

平地セイ之霊神	平成14・10・01
矢野サダ子大乃自之霊神	平成24・10・03
春山陽子之霊神	昭和56・10・06
中村正行大人之霊神	平成23・10・06
大木千鶴子之霊神	平成16・10・07
上田喜四郎之霊神	平成03・10・08
中野綾子之霊神	平成04・10・08
瀬戸淳一之霊神	平成23・10・10
庄村徳二之霊神	平成02・10・13
前田シヅ之霊神	平成26・10・13
有蘭敏雄之霊神	平成27・10・14
瀬戸秀雄之霊神	昭和50・10・14
前田照子之霊神	大正14・10・17
内村 健之霊神	昭和58・10・17
中野満行之霊神	平成12・10・18
岡山健一之霊神	平成29・10・21
春山住晴之霊神	昭和47・10・19
矢野仁吉郎之霊神	昭和30・10・26
福元フサ子之霊神	平成15・10・29

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)までのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。」

教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

鹿児島県は、目をあけず墓参りする習慣があり、どのお墓もいつも花を絶やさないように気を付けてあり大変良いことでもあります。ご先祖の霊様方も生死を通して天地の大神を恵まれてあることを代わりに御礼申し上げます、大安心のおかけを頂いていたきましよう。

十月三日(水) 午前十時半
月例祭に併せて

教祖御生誕祭奉仕
引続いて 矢野サダ子白萩大刀自例年祭

十一月四日(日) 午前十一時

加治木教会 前日御用奉仕

生神金光大神御大祭奉仕

〔祭典後、教話・直会。〕

御大祭・記念祭

【10月】

14(日)人吉教会 御大祭 11時

28(日)多良木教会 御大祭 11時

〃 上荒田教会 御大祭 11時

【11月】

4(日)加治木教会 御大祭 11時

11(日)鹿児島教会 御大祭 11時

併せて 落成奉告祭

18(日)西鹿児島教会御大祭 12時

23(日)東郷教会 御大祭 11時

24(土)大口教会 御大祭 12時

25(日)高千穂教会60年記念大祭 11時

十二月三日(月)

甘木親教会

生神金光大神御大祭 参拝

教会行事

10月

※10月1日の月例祭は御本部参拝の都合で
10月3日に変更になっています。

2(火) 清掃御用 10時

3(水) ●月例祭(報徳) 10時半

併せて 教祖ご生誕祭

9(火) 清掃御用 10時

10(水) ●月例祭(生神金光) 併せて
大神様 月例重祭 10時半

14(日)人吉教会 御大祭 11時

21(日) 清掃御用 10時

22(月) ●月例祭(天地釜
乃神様) 共励会 13時半

28(日) 上荒田教会 御大祭 11時

〃 多良木教会 御大祭 11時

31(水) 清掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会

十月二十三日〜月三十日

御大祭前信行期間

ご祈念・研修 午前五時十五分・午前十時
ご祈念のみ 午後四時・午後九時

※信行期間などで「信行取組表」
に取り組まれた方は、お早めに
教会へお持ち寄りください。

11月

1(木) ●月例祭(報徳) 10時半

3(土) 御用奉仕 10時

4(日)加治木教会 御大祭 11時

9(金) 清掃御用 10時

10(土) ●月例祭(生神金光) 併せて
大神様 月例重祭 10時半

併せて 立教記念祭・新穀感謝祭

11(日)鹿児島教会 御大祭 11時

併せて 落成奉告祭

18(日)西鹿児島教会御大祭 12時

21(水) 清掃御用 10時

22(木) ●月例祭(天地釜
乃神様) 共励会 13時半

23(日)東郷教会 御大祭 11時

24(土)大口教会 御大祭 12時

25(日)高千穂教会60年記念大祭 11時

30(金) 清掃御用 10時

※未定行事…少年少女会 秋の宴り
ピザ作り!

加治木教会 バンド練習会

練習日 随時連絡します。

練習会に参加のおかけを頂き
みんなで来年の甘木親教会
布教百十五年 記念大祭での
演奏会におかけを蒙らせて
いただきましょ。